

2008年(平成20年)12月8日 月曜日

サッカーJリーグ2部  
(J2)のアビスパ福岡  
(福岡市)が、主要株主  
など福岡県内の十一社に  
求めた約一億円の緊急支  
援に対し、支援に応じた  
企業は六社で支援額は目  
標の半分の五千円にと  
どまっていることが七日  
分かかった。成績が低迷す  
るチームへの不信感や、  
景気後退に伴う企業側の  
収益悪化が背景にあると  
みられる。アビスパの二  
〇〇九年一月期は、二年  
ぶりに最終赤字(数千万  
円)を計上する見通し。

アビスパによると、ユ  
ニホームズポンサーだつ  
たコカ・コーラウエスト  
ジャパンと三洋信販が昨  
季終了後、撤退。今季、  
約一億円の運営費不足に  
陥る公算になり、今年四  
月、九州電力や九電工、  
西日本鉄道など主要株主  
十一社に各二千万円程度  
の緊急支援を要請した。  
十一月末までに九電や  
九電工など六社から、広  
告費やチケット購入費で  
千五百万~五百万円の支  
援を取り付け、約五千万  
円が集まるめどが立った  
が、残る五社は事実上、  
支援を拒否している。

アビスパは今季、観客  
増収として同じJ2のロ  
アッソ熊本、サガン鳥栖  
との対戦を「九州ダービー」  
とPRしたり、大手  
遊技機メーカーを新スポ  
ンサーとして確保した  
り、経営改善策を講じて  
きた。しかし、〇九年一  
月期の売上高は前期比約

# アビスパ支援目標の半額

## 6社が5000万円 赤字転落へ

三億円減の約十一億円に  
とどまり、数千万円の最  
終赤字になるという。  
アビスパの都筑興社長

は「引き続き緊急支援の  
お願いを続け、資金確保  
に努めていきたい」とし  
ている。